

【在宅介護実態調査】

① 調査目的

在宅で生活している要支援、要介護認定者と介護者を調査対象に、要介護者の適切な在宅生活の継続や家族等介護者の就労継続（介護離職防止）の観点から、介護サービスの在り方を検討することを目的に実施するもの。

② 調査対象

要支援、要介護認定者のうち更新申請、区分変更申請を行った方

③ 調査期間

令和7年11月～

④ 調査方法

ちば電子申請サービスによるインターネット回答
（更新申請対象者への勧奨文に、サイトに入るQRコード及び回答画面に入る方法を明示した文書を同封）

⑤ 調査内容

<認定調査対象者本人について> 計25問

1. 認定調査対象者と回答者との関係性について
2. 認定調査対象者の世帯類型、性別、年齢、要介護度について
3. 施設等への入所・入居の検討状況について
4. 認定調査対象者の傷病について
5. 介護保険サービスの利用状況（利用していない方はその理由）について
6. 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況について
7. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて
8. 訪問診療の利用の有無について
9. 家族や親族からの、週当たりの介護の回数について

<主な介護者について> 計10問

1. 過去1年間における、家族や親族の介護離職（転職含む）について
2. 主な介護者の、対象者との関係性、性別、年齢について
3. 主な介護者が行っている介護の種類（排泄、食事等）について

4. 現在の生活を継続する当たり、介護者が不安に感じる介護の種類（排泄、食事等）について
5. 主な介護者の勤務形態、働き方の調整等について
6. 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援について
7. 主な介護者が、仕事と介護を両立し続けられるかの見通しについて